

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区
木更津東ロータリークラブ
2018-19 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市東中央 3-5-2 第2 三幸ビル 101 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2018-19 年度国際ロータリーテーマ インスピレーションになろう BE THE INSPIRATION

第 23 回 例会 NO. 2435 2019 年 1 月 9 日 (水)

ローマ歴史地区教皇領とサン・パオロ・フォーリ・レ・ムーラ大聖堂



1980 年登録 世界遺産

※新年よりイタリアの世界遺産を掲載いたします。

■司会進行 浅野文夫 SAA



- ◆点鐘 渡邊元貴会長 12時30分
- ◆国歌斉唱「君が代」
Rソング「奉仕の理想」
- ◆出席 会員 50 名
出席 39 名・欠席 11 名
- ◆出席率 81.25 %

◆メイクアップ【敬称略】

- ・1/8 木更津商工会 新年会 大里光夫
- ・1/9 新会員オリエンテーション
渡邊元貴 林孝二郎 大里光夫 松岡邦佳
栗坂禎一 有島敏夫 豊田文智 宮寺順子
- ・1/9 定例理事会
渡邊元貴 加藤智生 松岡邦佳 大里光夫
藤永範行 浅野文夫 林孝二郎 渡邊慎司
堀内正人

◆前々回出席率 78.26 % 修正後出席率 82.60%

◆欠席者【敬称略】

石渡正明・齊藤新一・嶋津正和・鈴木秀幸
三沢 猛・小林裕治・小林千晃・林田謙志
金見和子

◆結婚祝

※ 該当者欠席のため次週に延期いたします。



ホームページ <http://ki-east-rotary.ala9.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 元 貴
幹 事 大 里 光 夫
編 集 勝 呂 泰 樹

国際ロータリー

R I 会 長 バ リー・ラ シ ン
地区ガバナー 橋 岡 久 太 郎
ガバナー補佐 吉 野 和 弘

◆誕生祝【敬称略】

- 12/13 藤永範行
- 12/19 鶴岡大治
- 12/23 豊田文智
- 1/3 石田 亨
- 1/8 有島敏夫



■ゲスト・来訪ロータリアンのご紹介

■新会員入会式

渡邊元貴会長

・新会員紹介



先程、新会員 宮寺順子さんのオリエンテーションを行い、本日入会のサインをいただきました。ご入会を心より歓迎いたします。

・ロータリーの目的・四つのテスト贈呈



・ロータリーピン贈呈



・援助会員指名

渡邊元貴会長

林孝二郎会員が援助会員に指名されました。

・推薦者挨拶

林孝二郎会員



宮寺順子さんは木更津市矢那にお住まいです。息子さんが高蔵寺の住職をされており、宮寺さんは同寺の布教部長をされています。職業分類は「宗教 仏教」です。これまで地元の鎌足小学校、鎌足中学校の PTA 会長や木

更津市 PTA 連絡協議会広報委員長など要職を歴任されておりますのでご存知の方も多いかと存じます。先ほどテーブルの方のお話の中で、お酒が好きで特に日本酒が好物ということをお聞きしましたので、ぜひ皆さんお誘いして、1 日も早くクラブに溶け込んでいただきご活躍いただけるよう皆様のご支援をお願いいたします。

・新会員挨拶

宮寺順子会員



このたび、歴史ある木更津東ロータリークラブに入会させて頂き、心から感謝申し上げます。入会式前に渡邊会長、林委員長他委員会の皆様方から丁寧なオリエンテーションを受けました。木更津東ロータリークラブの一員として、ロータリアンの自覚しっかり持ち、皆さまと共に、活動していきたいと思っております。至らぬ所が多々あると思っておりますが、御指導御鞭撻をよろしくお願い致します。

・委員会配属発表

大里光夫幹事



新会員 宮寺順子さんの配属先はクラブ管理運営委員会と決定いたします。

■地区 RLI 実行委員 委嘱状伝達

渡邊元貴 会長 より 山田修平会員



国際ロータリー-2790 地区より、地区 RLI 実行委員に委嘱されました。ご活躍を期待いたします。

■会長挨拶・報告

渡邊元貴会長



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さま方におかれましては平成最後の新年を朗らかに発進されていらっしゃるかと心よりお慶び申し上げます。

さて、我が国の国歌「君が代」は、平成十一年に「国

旗および国家に関する法律」で正式に法制化されました。驚いたことにそれまでは、国歌として法制化されることがなかったのです。君が代は、明治期まではお祝いの場において朗詠されていたようです。賀歌だったのです。その起源は、古今和歌集に収められており、読み人知らずの和歌です。本の和歌を見てみましょう。

「我が君は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで」

なぜ、この和歌が賀歌として祝言で詠われたのでしょうか。

この和歌を、現代語に超訳した国語の先生（女性）がいらっしやいます。

「あなたと私、今まで楽しいことも辛いこともいろいろありましたね。いつもそばにいてくれてありがとうございます。平成が終わっても次の時代になっても、生まれ変わってもまたあなたに出会って恋をしたいです。時には困難が降りかかったり、意見がぶつかったりすることもあるかもしれません。そんな時はいつものように、お互い思いやりを忘れずに乗り越えていきましょう。そうして、愛おしい時を何度も何度も重ねて、おじいさんおばあさんになっても一緒に生きていきましょうね」

実は、この和歌はお相手に対する恋文だったのです。やや、跳訳しすぎではないかとお感じの方もいらっしやるでしょう。しかし、「君が代」がこうしたラブレターを起源としていること、このような感性を持っている私たち日本国民は国歌「君が代」を大きな声で堂々と歌いたいものです。子供たちにもこうした感性を持っている日本の先人たちに誇りをもって生きていってほしいと切望します。

五月からは、新しい御代が始まります。日本の伝統、次代へ送るべき宝、それは、このような日本人の感性なのだと思います。

本年が、皆さまにとりまして幸多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

■幹事報告

大里光夫幹事



1. 持ち回り理事会報告

1) 12月17日付けにて青木和義会員から提出された退会届に関して、持ち回り理事会にて承認されましたので報告いたします。

2. 幹事報告

1) 国際ロータリー2790地区より「第2790地区 女性交

流会のご案内」が届いておりますので回覧いたします。

2) 今年度下期年会費のご入金をお願いいたします。

3. 他クラブからのお知らせ

1) 袖ヶ浦 RC・富津シティ RC・富津中央 RC より「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。

2) 木更津 RC・袖ヶ浦 RC・上総 RC より「週報」が届いておりますので回覧いたします。

4. その他のお知らせ

1) 「年賀状」が届いておりますので回覧いたします。

2) 「福祉バザー協力依頼」が届いておりますので回覧いたします。

5. 回覧

・国際ロータリー2790地区より「第2790地区 女性交流会のご案内」

・袖ヶ浦 RC・富津シティ RC・富津中央 RC より「例会変更のお知らせ」

・木更津 RC・袖ヶ浦 RC・上総 RC より「週報」

・「年賀状」

・「福祉バザー協力依頼」

◇ニコニコボックス クラブ管理運営委員会

叶川博章会員



・渡邊元貴会長

あけましておめでとうございます。新年初例会で宮寺順子新会員をお迎えし、重ねておめでとうございます。ご利益がありそうですね。

・足立宗禪会員

1. 本日卓話をさせていただきます。

2. 宮寺順子さんの入会を歓迎いたします。持ち前の行動力と才知をもって頑張ってください。

・山田修平会員

新年あけましておめでとうございます。地区 RLI 実行委員の委嘱状を頂きました。RLI はロータリーについて語り合いながらロータリー全般を学ぶものです。皆さんも是非参加して下さい。

・有島敏夫会員

誕生日をお祝いいただきありがとうございます。昨日87歳になりました。これからもよろしく願いいたします。

・豊田文智会員

12月23日に66歳になりました。ありがとうございます。

・鶴岡大治会員

めでたく62歳になりました。春には本当にめでたくなれるよう頑張ります。

・石田 亨会員

今年で61歳になりました。ロータリーのセンパイ達をみならって元気に行きます。よろしく願いします。

・藤永範行会員

満年齢で59歳になりました。60歳を目前にして、体力・気力の衰え甚だしく、皆さんの足を引っ張ることのないように精進してまいります。

・倉島和広会員

明けましておめでとうございます。昨年12/24イブの日当ホテルにおいて撮影されたTBSドラマ「下町ロケット」の1月2日放送のエキストラとして参加しました。半日ががんばりましたが、どこにいたのかわからないくらいカットされてました。スクリーンデビューはまだ先のようです。今年もよろしく願いいたします。

■例会アワー

テーマ 「今年はどうなる年」
卓話者 足立宗禪 会員



明けましておめでとうございます。愈々、平成も終わり日本も改めてのスタートの年を迎えました。昨年一年を振り返って、一口に自然災害の年でした。災害に遭われた方々には、お慰めの言葉がなく、やるせなく、心が晴れない今日この頃です。

去る日、親しいあるお坊さんから手紙があり、五十年か百年にしか咲かない”双頭蓮”が、数ある境内の蓮の花の鉢の中に咲いたとありました。”瑞兆”ということですが、国民の一人ひとり、ひいては日本の将来に招福のものとなればとひそかに願うもので、更に西日本の豪雨災害のテレビを観ていて、神の怒り警告と受けとめなければと思ったとありました。

又、先哲の語録に、自然界の現象、摂理というもの複雑微妙で、常に互いに作用し合っているのと同時に相対する両方の作用を持っており、人間はそれを応用することで科学技術を進歩させてきました。然し、進歩は反面退歩にも通じます。一步誤れば偽、うそ、いつわりになってしまう。新聞・雑誌・テレビ等が際限なく発達普及して、ただ見たり聞いたりで済んでしまう。人間はただ不統一に雑駁に頭に映すだけで、そのために思索、推理、記憶という大事な頭の機能が失われ、理性や良心がなくなって催眠術にかかったようになってしまいます。今の日本がそうかもしれません。それではどうすれば良いのか。『一灯照隅』を行す他はない。「照隅」とは感謝、報恩であると言っています。私事ですが、自分を取り巻く総てに感謝報恩を表すため、毎年供養会を行っています。私事を含め前置きが永くなりました。

さて、今年はどうなる年かに入らせて頂きます。

先ず、去年は戊戌、樹木が茂と同じ、繁る、盛んの意味を持ち、前年に続いて内憂外患が更に紛糾するかもと言う事で、思い切った剪定、切りしたがえる事が必要ということでした。戊戌は、繰り返しますが新旧、上下の対立、相剋、枝葉末節の事柄がどんどんふえ、煩わしさが極まる。従って大鉈をふるうと言う事です。又、戊の易卦では剥がず、剥ぎ取るという意味から日没寸前の象とも言われているが、この卦が変わると剥がしても咎めないと言う事できわめてきわどいところであったが、どうだったのでしょうか。

納音は昨年と同じ「平地木」野の一木杉、平地に真直ぐに立った孤高の木を言ったもので競わず争わず繁っていても勢いが無い、淋しく孤立することを表しています。

さて今年の干支「己亥」はどうか、己は物が形を曲げて縮まり、かくれた象で外に対して内なる自身すなわち「おのれ」を表し、乱れを正して治める意味で己のおのれは他に対して屈曲し悪がたまり乱れやすいから、これの筋を通して規律して行くべきことを意味したものであり、あくまで己を規律して行くべきことを旨とせねばならないと言う事です。

前年の戊は、茂でしげることであり、それは紛糾と衰敗を意味するから剪定賦活せねばならない。己はその後をうけて筋道をはっきり通すということです。これ

に反して利己的に過ぎると敗を招くこととなる。特に為政者は己の一字を肝に銘ずることと言っています。己の古代文字はとかくひんまがり、悪のかたまりになると言うのを表しており、元来糸の屈まりの象形で、「己」はこれを真直ぐにのばす、つまり筋道を通すこれが一番古い文字と言う。糸のもつれをのばして規律を正せと言う事なのです。

次に支の「亥」はどうか。これが又意味が深いのです。というのはこれは核と同じ意味で、亥の上の一は上を表し下の文字は男女が二人で何かをはらんでいるかたちを表していると言う。したがってこの文字は「何かを生もうとしている」「いろいろなエネルギー問題ををはらんでいる」と言う事をしており起爆性を含んでおり核の現代にふさわしい暗示を与えるかの支なのです。

猪という動物は確かに起爆性を持った動物と言えるでしょう。山や野の茂みから突然飛び出してきて、その辺の田畑は滅茶苦茶に荒らされてしまう。そこで干と支が相俟つと干の屈曲した状態と亥の起爆性のエネルギーが突如としてとなると穏やかならざる気持ちになってきます。あらためて干支六十年の歴史をここで振り返ってみましょう。

今年「己、亥」で己が陰の土、亥は陰の水で干支が陰と陰で相剋しており、物事が無事安泰に過ぎるとは思えない。又、亥の卦は「坤為地」これは柔らかく静のうちに豊かな力を秘める。何事も控えめに・・・と言う事で柔順の徳を守って亨る卦で、「才能を包み隠していなさい。従順さをもって努めれば亨る」

時だと言っているのです。この様なことから今は目立つことをせず日々を真面目にやることこそ反って物事が上手く運ぶので、これが全う出来れば危うくとも難をさけられるかもしれません。

振り返って、前回六十年前(昭和34年)はどうだったか。岩戸景気に覆われ、皇太子(現天皇)が結婚され日本中がフィーバーして大変なお祭り騒ぎとなった。六十年後の平成31年を天皇退位とされたが、これも干支の巡りによるものだろうか。災害では伊勢湾台風で死者不明者五千人以上があった。更にその前の己亥年は明治32年西洋から近代化の影響を受け色々な産業が台頭し、日本各地に鉄道が完備され始め東京、大阪で初の長距離電話が開通した。一方、愛媛県で大水害、宮城県白石町で四千三百戸、富山市で四千七百戸、横浜市で三千二百戸が焼失という大火災があった。

本年は八白が伴う。八白は確固たる山、先天定位には三碧の震で動き、大衆の動きが増して自前憲法制定の動きが活発になるか興味深々である。今年三元では下元。(中国で天地の始めを上元、中を中元、終わりを下元)と区別して言っている稱で、その三十六年目の今年が己亥の八白年と言う事である。いずれにせよ、干支一巡六十年、二巡で百二十年、自然災害のみならず近隣諸国の常軌を逸した行動。特に易经を生んだ国の「強国」への野望は危険と言わざるを得まい。世界情勢の激変から衰退、崩壊と世界経済の大災害等にならないことを祈るのみである。

例年のことで、諸先輩を前にご清聴ありがとうございました。



点鐘 渡邊元貴会長 13:30